

1. 科目名 (単位数)	福祉科指導法 (4 単位)	3. 科目番号	SSMP3441
2. 授業担当教員	大門 俊樹		SCMP3441
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	高等学校福祉科の主旨、目標、科目構成と内容についての理解を図る。また、問題演習などを通して、福祉科の授業を行う上で必要な社会福祉の基礎的・専門的知識や技術についても整理する。さらに、受講生全員が模擬授業をつくりあげることにより、福祉科教員としての基礎を確立することを目指す。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高校福祉科の設置経緯と位置づけについて理解し説明できるようになる。</li> <li>2. 福祉科の教育目標と教育内容について理解し説明できるようになる。</li> <li>3. 各科目 (新教育課程 9 科目) に関して理解し説明できるようになる。</li> <li>4. 教材研究と指導案作成について理解し、模擬授業の計画に備え発表できるようになる。</li> <li>5. 授業展開例と授業評価について理解し説明できるようになる。</li> <li>6. 模擬授業を計画し、実際に全員が授業を行い、福祉科教育実習の準備の第一歩とする。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート 課題	教育実習に備えるために、1時間分の学習指導案を作成し提出するとともに、全員が模擬授業を体験する。その後、一人ひとりの授業についての振り返りを行った後、添削をした学習指導案を返却し、教育実習に生かしていく。		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 村川浩一他『(H25 新課程) 社会福祉基礎』実教出</p> <p>【参考書】 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 福祉編』海文堂出版 東京福祉大学編『教職科目要説』ミネルヴァ書房</p> <p>【参考資料】 高等学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高校福祉科の設置経緯と位置づけについて理解し説明できるようになる。</li> <li>2. 福祉科の教育目標と教育内容について理解し説明できるようになる。</li> <li>3. 各科目 (新教育課程 9 科目) に関して理解し説明できるようになる。</li> <li>4. 教材研究と指導案作成について理解し、模擬授業の計画に備え発表できるようになる。</li> <li>5. 授業展開例と授業評価について理解し説明できるようになる。</li> <li>6. 模擬授業を計画し、実際に全員が授業を行い、福祉科教育実習の準備の第一歩とする。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>学習指導案 50%</p> <p>授業内で行う模擬授業準備・発表活動等 30%</p> <p>授業態度・レポート等の提出物 20%</p> <p>学校での授業補助・行事参加等の教育ボランティア活動を行った場合は、評価し加算する。</p>		
12. 受講生への メッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 欠席・遅刻・早退をしないこと。</li> <li>2. 授業中は携帯電話や PHS 等の電源は切り、私語・居眠りは慎み、常に緊張感と集中力を保つこと。</li> <li>3. 授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も改善が見られないときは、F 評価とする。</li> <li>4. 授業での積極的な取り組みを評価するので、グループディスカッションや意見の発表時には間違いを恐れず、恥ずかしがらずに前へ出ること。</li> <li>5. 授業中に指示された課題の提出期限は守ること。</li> <li>6. この授業では、全員が福祉科の模擬授業を行う。受講生の中には福祉科で教育実習を行わない学生もいると考えられるが、福祉科指導法の履修には必須といえるため、積極的に取り組むこと。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	最初の授業で発表する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	授業ガイダンス、基礎力診断テスト、高校福祉科の設置経緯とねらい 1	事前学習	自分がなぜ福祉科教員免許を取得するのか、よく考えて授業に臨む。
		事後学習	福祉教育の類型をまとめ、理解する。
第 2 回	高校福祉科の設置経緯とねらい 2	事前学習	高校福祉科の教育目標をチェックし、理解する。
		事後学習	教科「福祉」が登場した時代背景について理解し、まとめる。
第 3 回	高校福祉科の教育目標と科目編成	事前学習	高校福祉科の科目編成をチェックし、理解する。
		事後学習	高等学校の教育目標を確認し、理解する。
第 4 回	学習指導要領総説、教育評価 (福祉科の学習評価の考え方を理解する)	事前学習	学習指導要領を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	学習指導要領と福祉科について整理するとともに、福祉科の教育目標を再確認する。
第 5 回	福祉科の各科目 1 (社会福祉基礎 1) 社会福祉の理念と意義、人間関係とコミュニケーション	事前学習	学習指導要領の社会福祉基礎の内容を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	社会福祉基礎の予習用教材を作成する。
第 6 回	福祉科の各科目 1 (社会福祉基礎 2) 社会福祉思想の流れと福祉社会への展望、生活を支える社会保障制度	事前学習	学習指導要領の社会福祉基礎の内容を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	社会福祉基礎の授業用教材を作成する。

第7回	福祉科の各科目2（介護福祉基礎1） 介護の意義と役割、介護福祉の担い手	事前学習	学習指導要領における介護福祉基礎の内容を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	介護福祉基礎の授業用教材を作成する。
第8回	福祉科の各科目2（社会福祉基礎2） 介護を必要とする人の理解と介護、介護における安全確保と危機管理	事前学習	学習指導要領における介護福祉基礎の内容を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	介護福祉基礎の復習用教材を作成する。
第9回	福祉科の各科目3（コミュニケーション技術1） 介護におけるコミュニケーション	事前学習	学習指導要領におけるコミュニケーション技術の内容を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	コミュニケーション技術の予習用教材を作成する。
第10回	福祉科の各科目3（コミュニケーション技術2） サービス利用者や家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	事前学習	学習指導要領におけるコミュニケーション技術の内容を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	コミュニケーション技術の授業用教材を作成する。
第11回	福祉科の各科目4（生活支援技術）	事前学習	学習指導要領における生活支援技術の内容を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	コミュニケーション技術の復習用教材を作成する。
第12回	福祉科の各科目5（介護過程）	事前学習	学習指導要領における介護過程の内容を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	介護過程の授業用教材を作成する。
第13回	福祉科の各科目6（介護総合演習）	事前学習	学習指導要領における介護総合演習の内容を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	介護総合演習の授業用教材を作成する。
第14回	福祉科の各科目7（介護実習）	事前学習	学習指導要領における介護実習の内容を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	介護実習の授業用教材を作成する。
第15回	福祉科の各科目8（こころとからだの理解）	事前学習	学習指導要領におけるこころとからだの理解を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	こころとからだの理解の授業用教材を作成する。
第16回	福祉科の各科目9（福祉情報活用） 福祉科授業における情報機器活用についても考える。	事前学習	学習指導要領における福祉情報活用を読んだうえで授業に臨む。
		事後学習	福祉情報活用の授業用教材を作成する。
第17回	指導計画の作成（外部講師）	事前学習	学習指導計画とは何なのかについて理解し、授業に臨む。
		事後学習	学習指導案の項目をまとめる。
第18回	模擬授業で扱う単元の決定	事前学習	模擬授業で扱う単元を決定する。
		事後学習	模擬授業の指導案のテーマ・目標を設定する
第19回	模擬授業準備 過去の模擬授業映像を視聴し、分析しながら、自分の授業に生かしていく。	事前学習	模擬授業の指導案を作成する（1）。
		事後学習	模擬授業の指導案を作成する（2）。
第20回	模擬授業準備 単元名、単元の目標、設定の理由について考える。	事前学習	模擬授業の指導案を作成する（3）。
		事後学習	模擬授業の指導案を作成する（4）。
第21回	模擬授業準備 本時の指導（主題・目標・指導過程）について考える。学習評価の考え方を理解し、本時の評価について考える。	事前学習	模擬授業用の教材を作成する（5）。
		事後学習	模擬授業用の教材を作成する（6）。

第22回	模擬授業準備 プリント教材（予習用教材、授業用教材。復習用教材など）を作成する。情報機器を活用した授業設計についても検討する。	事前学習	模擬授業用の教材を作成する（1）。
		事後学習	模擬授業用の教材を作成する（2）。
第23回	模擬授業準備 授業の進め方、発問の仕方などについて練習する。	事前学習	模擬授業の指導案に基づき練習する（1）。
		事後学習	模擬授業の指導案に基づき練習する（2）。
第24回	模擬授業準備 板書の仕方、映像教材導入・操作の仕方などについて練習する。	事前学習	模擬授業の指導案に基づき練習する（3）。
		事後学習	模擬授業の指導案に基づき練習する（4）。
第25回	模擬授業 授業時の声量、姿勢、視線などに着目して、	事前学習	模擬授業の指導案に基づき練習する（5）。
		事後学習	模擬授業チェック表を見て、自分の授業の反省点を明らかにする（1）。
第26回	模擬授業 授業時の発問、グループディスカッションなどに着目して	事前学習	模擬授業の指導案に基づき練習する（6）。
		事後学習	模擬授業チェック表を見て、自分の授業の反省点を明らかにする（2）。
第27回	模擬授業 授業時の板書内容、プリント教材、映像教材の内容などに着目して	事前学習	模擬授業の指導案に基づき練習する（7）。
		事後学習	模擬授業チェック表を見て、自分の授業の反省点を明らかにする（3）。
第28回	模擬授業 授業の全体内容に着目して	事前学習	模擬授業の指導案に基づき練習する（8）。
		事後学習	模擬授業チェック表を見て、自分の授業の反省点を明らかにする（4）。
第29回	まとめ1（全員の模擬授業に対する講評） 模擬授業の映像を見ながら、授業時の声量、姿勢、視線など、授業全体について授業者が振り返った後、担当教員が好評をする。	事前学習	自分の模擬授業について、反省点を再度明らかにする（1）。
		事後学習	模擬授業に対する講評を聞いて、自分に取り入れるべきところを明らかにする（1）。
第30回	まとめ2（全員の模擬授業に対する講評） 提出された学習指導案、プリント教材などを見ながら、授業内容の詳細について、受講生と担当教員で詳細な検討を行い、教育実習に生かしていく。	事前学習	自分の模擬授業について、反省点を再度明らかにする（2）。
		事後学習	模擬授業に対する講評を聞いて、自分に取り入れるべきところを明らかにする（2）。
期末試験			